

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	2172
部名	企画部	課名	広聴広報課	課長名	白井誠一
事務事業名	広報紙等発行費				
予算上の事務事業名	広報さがみはら				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		16310		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第6章 彩りのある市民文化を創造します				
基本施策名	第3節 文化的視点に立った行政の推進				事業開始年度
施策名	第1施策 文化的視点に立った行政の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
広報広聴規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
市民と行政を結ぶパイプ役として、市民に直接かかわりのある様々な情報のほか、市政の現状や課題、市の考え方などを、タイムリーにわかりやすく提供する。				市民(世帯)	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
発行回数 25回 定例号毎月2回(1日・15日)・・・8P=14回、12P=10回 臨時号1回(相模原市長選挙)・・・2P=1回					
発行部数 平均約224,350部/回					
決算額 94,305,116円(印刷製本費、新聞折込委託、郵送委託 ほか)					
印刷単価 2P=2.31円、8P=6.762円、12P=12.705円					
折込単価 2P=2.93円、8P=6.99円、12P=8.61円					
配布方法 新聞折込(新聞社7社に)新聞店57店平均約215,910部/回 郵送平均約2,000件/回 各出張所・公民館・公共施設・駅などに配布約6,440部/回					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	92,982	93,663	94,305	96,460	96,460
一般財源	92,982	93,663	94,305	96,460	96,460
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	41,950	40,050	40,350	40,350	40,350
事業コスト合計(a)	134,932	133,713	134,655	136,810	136,810
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	広報さがみはら			対象名称(単位)	1部あたり
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	134,932	133,713	134,655	136,810	136,810
対象数	5,595,941	5,600,000	5,608,000	5,520,000	5,520,000
単位あたり経費(円)	24	24	24	25	25
前年度比		0.99	1.01	1.03	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	広報紙の発行部数		指標式と指標の説明	配布部数 / 発行部数 × 100 配布率により、市政の情報提供の公共性を表す		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	5,595,941.0	5,600,000.0	5,608,000.0			
目標	5,595,941.0	5,600,000.0	5,608,000.0	5,520,000.0	5,520,000.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	広報紙の活用度		指標式と指標の説明	市政に関する世論調査での広報さがみはらの閲読度により活用度を表す（世論調査が行われたのは平成15年度のみで閲読率は73.4%）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	4068249.0	4110400.0	4116272.0			
目標	5595941.0	5600000.0	5608000.0	5520000.0	5520000.0	
目標達成度	72.7	73.4	73.4			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 執行体制の見直しと民間委託の検討			14 課題として認識されたこと ・ 広報紙の編集業務は文章の調整、レイアウトが不可分な関係に近いと、定例的、形式的な記事以外は委託しても市の調整事務が多く残ってしまい委託効果が低い。 ・ 合併に伴う広報紙統合により、レイアウト変更が必要のため、委託内容と費用が変わる可能性がある。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
			広報紙の質の向上に留意しつつ、委託化を推進する。			